

## 第5回検討会の議事概要

### 1. 第5回検討会の主な内容

これまで議論してきたまちづくりの方向性を踏まえて、具体的取組み（素案）について、様々な視点で意見交換を行った。

#### 【主な意見】

##### （住まう視点）

- ・ これからの神戸の人口増加を考えるうえで、六甲アイランドは非常に重要。子供から高齢者を含め、屋内・屋外で例えば熱中症にもならないよう安心して楽しむことができる環境づくりに留意が必要。
- ・ 六甲アイランドは大阪圏への通勤も多く、また大阪圏の住民も六甲アイランドを生活圏の視野に入れている。新たな住宅供給により他都市からの人を呼び込むという意味では、六甲アイランドの優位性は高い。
- ・ 住宅地としての価値を維持していくうえで、マンションであれば、如何にオーナーのマネジメント能力を高めていくかが重要で、勉強会の開催などによって新たなスキームづくりも必要。
- ・ ハウジングマネジメントの観点では、個々のオーナー任せではなく、専門業者や例えばコミュニティビジネスの活用などにより、どこかが預るといった視点も重要。地域に根差した在り方により、価値を維持していくという考えも将来的に視野に入れておくべき。
- ・ 良いまちの状態を保つためには、住まいが良好な状態で管理され、人の住み変わりが起こっていくことが非常に重要。中間管理組織のような安心して任せられる組織・体制等があれば、他の地域にはない特色が出てくる。

##### （集う視点）

- ・ レクリエーションという面では、サッカー場を含めたイベント会場など、人が集えるようなものが望ましい。
- ・ 商業施設の活性化には、一定島外から人を集める必要がある。これまでとは全く違う視点で、例えばこどもの遊び場の誘致などにより集客を考えてはどうか。
- ・ A O I A跡地には、屋外型の子供の遊び場やオープンシアター、グランピング施設等と、海上アクセスにより観光客を取り込むような仕掛けを一体的に実施するとともに、ぜひ誘致の目玉となるようなものがほしい。

- ・大阪IR構想や大阪万博の開催など、大阪湾ベイエリアの活況により、六甲アイランドはますます重要な拠点になるため、海上アクセス機能については本格的に検討すべき。
- ・海の玄関口の整備について、持続的な運用には事業採算性の観点も重要であることから、そういった面も含めて今後検討していく必要がある。

**（働く視点）**

- ・人手不足と言われている中で、地域の中で働き手を手配する、充足させるという新しいモデルづくりは有効ではないか。
- ・チャレンジショップは、新しく事業を始める方にとって非常に有益なチャンスでもあり、地域の賑わいや利便性向上という面とともに、六甲アイランドに企業が根付く一つのきっかけになる。

**（全般的な視点）**

- ・国際学校の存在や、多くの外国人居住があるという点は、六甲アイランドの特色であり、新たな外国人学校の誘致を進めてはどうか。
- ・地元組織が非常にしっかりしている特長を活かし、今後更にその足腰を強めていくのか、エリアマネジメントを担うという観点でも、今後ブラッシュアップしていく必要がある。
- ・今後、自動運転技術が進み、運転席の無い車が実用化されると言われている。六甲アイランドは生活道路と産業道路が分離されており、自動運転を実用化するための実証実験が非常にやりやすい。そういった近未来的な取り組みを積極的に進めていくべき。

**（その他）**

- ・具体の取組みについて、実際に誰が主体となって実行していくのか。そういった観点も加えてほしい。具体的に事業を実施する事業者を早く見つけてほしい。
- ・この検討会で議論しているように、六甲アイランドが将来のまちの姿をどのように考えているのか、そういったことを積極的に情報発信していくことで、民間からのアクションを呼び込み、好循環につなげていくといった視点も重要。